

令和5年度

自然共生サイトと支援者のマッチング

(支援者向け)

参加者募集要項

■ 募集期間

令和5年10月23日～令和5年11月24日 18:00

■ 問合せ先

アビームコンサルティング株式会社

E-Mail : JPABOECM_2023DL@abeam.com

1. 「自然共生サイトと支援者のマッチング」概要

2022年12月に開催された生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）において、新たな世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択され、その中に「2030年までに、陸地及び海洋の少なくとも30%を保全又は保護すること（30by30目標）」も盛り込まれた。今後、我が国においても30by30目標達成のために、法的な保護地域の拡充に加え、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」といった「保護地域以外の生物多様性保全に資する地域（OECM：other effective area-based conservation measures）」を設定することが主要施策とされています。

そのため、環境省では、まずは、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として国が認定する仕組みの運用を令和5年度から開始しましたが、「自然共生サイト」の認定促進や認定後の管理の継続や質の向上等のためには保全活動を実施する主体への経済的・人的支援等が重要です。また、そういった支援を促すためには支援を提供する者に対するインセンティブが重要です。

このため、環境省では、保全活動の継続、または質の向上のために支援を必要とする自然共生サイト及び自然共生サイト認定を目指しているサイトと、それらの活動支援を希望する支援候補者とのマッチングを行うこととしました。また、当マッチングを実施するにあたり、保全活動実施主体へのより効果的な支援や支援者に発行する支援証明書のTNFD等への活用という側面や投資家から見た評価等について具体的に検討すべく、「支援証書モデル的試行WG」を設置することとしました。当WG内で参加者の皆様と協議を行いながら、自然共生サイト支援を促すスキームを検討すると同時に、事例（イメージ）を作り上げることを目的としています。

なお、本マッチングはあくまでモデル的に実施する試行であり、支援証明書の正式な発行を行うものではなく、仮想的に支援内容を想定し、支援証明書（案）の作成と仮想的な発行を行うものです。

2. 支援証書モデル的試行WGの構成

支援証明書モデル的試行ワーキンググループ 委員

（五十音順、敬称略、◎：座長）

氏名	所属・役職
浅野 建	東京海上アセットマネジメント株式会社 ESG運用グループ
幸福 智	いであ株式会社 国土環境研究所 技術部門 地域共創推進部 主査研究員 兼 東北支店 自然環境保全部 主査研究員

富田 基史	一般財団法人電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部 気象・流体科学研究部門 (兼) 社会経済研究所 主任研究員
原口 真 ◎	MS & AD インシュアランスグループホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部 TNFD 専任 SVP MS & AD インターリスク総研株式会社 基礎研究部 基礎研究グループ フェロー
松山 将之	株式会社日本政策投資銀行 設備投資研究所 主任研究員

3. 応募条件

次の全てを満たすことを応募条件とします。

※参加辞退を受け付ける期間を設けています。詳細は「5. 実施スケジュール (予定)」参照

- (1) 今後、TNFD への対応等も視野に自然共生サイトの取組を支援する意思があること。
※ただし、TNFD への対応を目的とすることを必須とするものではない。
- (2) 提供する支援の内容及び、支援証明書別紙に記載する特記事項 (生物多様性地域戦略等における公的位置付け / 地域課題の解決に係る貢献内容 / サイト内で実施するプロジェクトの具体的内容 (管理体制、方法等) / 本業との関連、支援者の知見・技術の支援 等) の案の作成にご協力いただけること。
※本試行においては、仮想的に支援内容とその内容を踏まえた支援証明書の内容の検討を行う。
- (3) 応募後、想定する支援内容等に関する事務局からのヒアリングにご対応いただけること。また、試行に参加することになった場合も事務局からの依頼や会議へのご出席にご対応いただけること。
- (4) 当試行に参加いただいた者の名称、想定する支援内容、支援証明書 (案) の内容を環境省 HP や一般公開される有識者検討会にて公表することに同意いただけること。
※公表する情報の度合い (サイト名称や所在地等) は公表前に個別に調整を行い、同意いただけた範囲内で情報を公表する。

4. 支援の実施について

当マッチングにおいて支援者候補として選定された者は、実際に支援を行うことは必須条件となっておりません。事務局・WG とのインタラクティブセッションの結果を踏まえて、実際に支援することで得られるインセンティブ等を理解いただいた後に、実際の支援実施を各自でご判断いただくこととしております。

5. 実施スケジュール（予定）

下記のスケジュールでの進行を予定しています。

※スケジュール及び実施内容は現時点での想定であり、変更の可能性があります

① 令和5年10月23日～令和5年11月24日 募集期間



② 11月下旬 自然共生サイトのアピール動画の公開

任意で提出をいただき、自然共生サイトでの活動等に関するアピールポイントを説明した動画を応募いただいた支援者向けに公開します。

※アピール動画は任意提出のため、応募があった全サイトの動画がある訳ではありません



③ 【任意】支援先の自然共生サイト指名希望受付兼参加辞退受付期間
（②から1週間程度）

自然共生サイトのアピール動画をご覧いただいた後、支援先として希望するサイトがある場合、若しくは参加を辞退したい場合、当期間内に表紙に記載の問合せ先までご連絡ください。



④ 11月下旬～12月中旬 マッチングの実施（事務局・WGによる調整）

※応募いただいた全ての者が必ずマッチングされるわけではありません。



⑤ 12月中旬～下旬 事務局より結果を通知



⑥ 1月中旬～下旬 想定する支援内容（案）等の提出

支援希望者の皆様には、マッチングしたサイトに対して支援する内容およびその内容を踏まえた支援証明書別紙（特記事項）の内容について、案を作成していただき、事前にご提出いただくことを想定しております。

※事務局から追加の質問事項や修正依頼がある可能性がございます。



⑦ 2月～3月 事務局・WG との支援証明書の作り込み

ご提出いただいたものをもとに事務局・WG からのフィードバックや意見交換等をさせていただきます。

※WG へのご参加をお願いする可能性もございます。



⑧ 3月頃 マッチング結果と支援証明書イメージの公表

6. 応募方法

(1) 応募方法

下記のリンクより、必要事項にご回答ください。

【応募フォーム】

<https://forms.office.com/r/USL9ydvTg>

【応募受付期限】

令和5年11月24日（金） 18:00 迄

(2) 問合せ先

アビームコンサルティング株式会社

E-Mail : JPABOECM_2023DL@abeam.com

7. その他

(1) 秘密の保持

環境省は、提出された応募情報及び実施過程で提供いただいた情報について、公文書等の管理に関する法律に基づく行政文書の管理に関するガイドラインに沿い定められた関係規程により、厳重な管理の下、一定期間保存します。この際、取得した個人情報その他秘匿情報については、法令等に基づく場合の提供を除き、マッチングの検討及び支援証明書作成検討のみに利用しますが、特定されない状態に加工した統計資料等に利用することがあります。